

ぎなん

10月
(4)岐南中学校教育目標
自ら動く

【後期に向けて！】

後期が始まる始業式で、3年生の代表者として、3年6組の坂井宗太さんが語った言葉です。堂々と発表し、素敵な内容でした。ぜひ、保護者の方にも読んでいただきたくて、学校だよりに掲載しました。

私はこれまで、「広く長期的な視野を持ち、実際に行動できる自分」を目指して努力してきました。

2年生の頃の私は自分の考えにとらわれ、一つの物事に対して多くの視点から考えることができませんでした。だからこそ私は、広い視野を持ち、自ら考え、自ら行動できる人になりたいと思いました。

その目標に近づくために、前期は学級委員として活動してきました。

学級委員は、学級の中心に立ち、仲間とともにより良いクラスをつくり上げていく役割です。私はその責任を自覚し、仲間のために自分から行動することを大切にしてきました。移動教室での呼びかけや清掃活動はもちろん、ロッカーの整頓や掃除への取り組みについてプレゼンテーションを行い、学級全体の環境をより良くしようと働きかけてきました。また、授業で使うハンドサインの活用が十分ではなかったときには、自ら中心となってルールを整理し、みんなに呼びかけました。その結果、同じ意見の人も積極的に意思表示ができるようになり、分からないことがある人も発言しやすい雰囲気が生まれました。仲間同士で考えを深め合う場面も増え、学級の学びはより活発になったと感じています。

しかし、これらの成果は決して私一人の力で得られたものではありません。悩んだときには励ましてくれる仲間がいました。迷ったときには支えてくれる仲間がいました。その存在があったからこそ、私は挑戦を続けることができました。前期を振り返ると、私は目指していた自分に大きく近づくことができたと思います。

そして後期、私たち3年生の目指す姿は、「揺るぎない自分の確立」です。

私たちが中学校で過ごせる時間は、もう残り半年ほどしかありません。半年後、私たちは卒業し、それぞれの道へ進みます。高校に進学する人もいれば、自分の夢に向かって新しい環境へ進む人もいます。

そのとき、これまでのようにいつも仲間が隣にいてくれるとは限りません。だからこそ今、必要なのは、自分で考え、自分で決断し、自分で行動できる力です。

私はその力を身に付けるために、まずは当たり前のことを当たり前でできる人になります。例えば掃除です。私語をしながら掃除をしていては、本当に隅々まできれいにすることはできません。

まずは目の前のやるべきことを徹底する。その積み重ねが責任感を育て、自分を成長させます。

これは掃除だけではなく、あいさつをすること。時間を守ること。提出物を期限までに出すこと。授業に真剣に取り組むこと。

そんな当たり前のことを本気でやり続けられる人こそが、大きく成長できるのだと思います。

そして、当たり前のことにはその行動への価値や願いが込められています。ただ当たり前をこなすのではなく、なぜ大切なのか、考えることも大切にしていきたいです。

建物が、強い土台の上に建つように、人の成長も確かな土台の上に築られます。土台が揺らがなければ、どんな困難にも立ち向かうことができます。

私は後期、自分の将来の夢である「教師」に向かって、一つ一つの当たり前を大切にしながら、揺るぎない自分をつくり上げていきます。

皆さんも、この後期をただ何となく過ごすのではなく、半年後の自分、そしてその先の未来の自分を思い描きながら、目指す自分に向かって努力してください。

「誰かがいるからできる自分」ではなく、「どんなときでも自ら動ける自分」を目指しましょう。そして、一人一人が自分の目標に向かって挑戦し続ける後期にしていきましょう。

私は、3年6組の仲間と悔いのない後期を創り、結学年として最高の後期をつくり上げて、胸を張って卒業したいと思います。